

育友会の5つの委員会 活動報告

育友会本部では学生支援・ご父母と大学との連携のために、5つの委員会を設けて活動しています。メンバーで楽しく協力し合いながら取り組んでいる活動の様子をご紹介します。

スポーツ応援推進委員会



↑バレーボール部の学生たちと



↑11月11日、東都大学野球リーグ1部・2部入替戦にて



↑5月28日、関東大学ボクシングリーグ、慶大戦。6-1で勝利



↑10月15日、関東大学バレーボール秋季リーグ1部、明大戦。3-1で勝利



専大の体育会を盛り上げる！

委員長 山上 剛

👉 応援メッセージは12頁に

スポーツ応援推進委員会は、育友会事業「広報活動の強化」の一つとして体育会の応援に参加して育友会をPRすることを目的としています。

コロナ禍の影響によりいまだに無観客での試合が多く、思うような応援活動ができていませんが、その中でも今年度は、5月にボクシング部、9月に野球部、10月にバレーボール部の試合を観戦し、専修大学を応援してまいりました。

また、10月の箱根駅伝予選会においては、例年通り東京・立川市街地や国営昭和記念公園も走るコー

スで実施されるということで現地での応援を予定していましたが、沿道での応援自粛要請があり、残念ながらテレビ観戦となりました。現地での応援ができない分、例年同様に応援メッセージを全国の各支部にお願いし、メッセージ入りのハンカチをつなぎ合わせ「応援旗」にして陸上競技部にお届けいたしました。

来年度こそは沿道での応援ができることを期待しながら、今できることを進めていきたいと考えています。皆様も機会があれば、ぜひ専修大学の応援に参加してください！

鳳祭参加企画「お休み処・育友」委員会



3年ぶり、新たなアイデアで学生気分楽しく出店

委員長 五十嵐佳子



活動の様子と
メンバー写真は5頁に

3年ぶりに生田キャンパスで開催された鳳祭。「お休み処・育友」も3年ぶりに出店させていただきました。

「お休み処・育友」は10号館の教室をお借りして飲み物とお菓子を無料でお出ししています。広いキャンパスで歩き疲れた皆様にお休みいただける場所になればとの思いでお迎えしています。学生だけでなく、大学OB・OGの方々や保護者の方々、また受験を考えている高校生の方々にも足を運んでいただき、2日間で900人近い来店がありました。

育友会のPRをするために、スポーツ応援委員会の写真や会報『育友』を閲覧できるようにしました。学生支援として恒例のじゃんけん大会も実施し、キャンパスを練り歩きジャンケンに勝った方には模擬店で使用できる鳳祭チケットをプレゼントしました。また会場ではマジックサークルの学生にマジッ

クを披露していただき、驚きの声と笑顔でいっぱいになりました。

ボデビル部の学生には急なお願いを快く受けていただき、鍛え上げた成果を披露していただきました。陸上競技部の学生の来店では、箱根駅伝出場に向けた抱負を聞くことができ、会場はエールの拍手でいっぱいになりました。

「お休み処・育友」に関わった経験のある委員は少ないながら、コロナ対策をしつつ新たなアイデアも盛り込み、学生気分楽しく出店しました。何よりコロナ禍で大変な思いをされた学生達の弾ける笑顔、生き活きとしたサークル発表に私達も笑顔とパワーをいただきました。ありがとうございました。来年度も出店を予定していますので、鳳祭にお越しの際はぜひ一息つきに来ていただけたら嬉しいです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

育友会奨励賞選考委員会



応募作品を読み、審査。学生の頑張りに感嘆

委員長 小海祐資



受賞作は13～18頁に

第23回育友会奨励賞には、個人13作品、団体4作品の計17作品の応募がありました。今年の応募作品では、インターンシップにまつわる体験を綴った作品が複数ありましたが、これは昨年までにはあまり見られなかった傾向であり、就職に対する学生の意識の高まりを垣間見ることができました。

コロナ禍の影響により、いわゆる“ガクチカ”（学生時代に力を入れたこと）を語れるだけの体験を得ることが困難な学生が依然として多いであろう中、「この状況下でよくぞここまでの体験をしたものだ」と我々選考委員が唸るような作品も少なくなく、専大生の行動力の逞しさと発想力の豊かさには、只々感嘆するばかりでした。

大学生活の中で自身の糧となった貴重な体験の



数々は、これからの人生において間違いなく大きな心の支えとなるはずですが、未知の体験に一步を踏み出すことは誰しもためらうものかもしれませんが、不安を抱きながらも果敢に挑戦することの意義を体得できた学生の皆さんには、大いに自信をもってさらなる飛躍を目指してくれることを期待しています。

育友会活動推進委員会



未来を見据えた議論、そして挑戦を

委員長 吉村信子

育友会活動推進委員会は深く議題を掘り下げるべく、幅広い意見交換をし、多角的な見方をするよう、常任役員のみならず顧問、相談役、時には支部長経験者の方にもご参加いただいております。

令和元年度の委員会設立当初の目的「60年後の育友会を見据えた活動基盤の強化」を念頭に、コロナ禍での育友会活動、時代に適応しながらも親世代が対象ということを踏まえた、緩やかなオンライン化等、取り組んでいく課題は山積みです。

また、今年度55支部で開催した支部懇談会に参加されたご父母・保護者の方々、あるいは支部長・支部役員にご協力いただいたアンケートを精査及び検討し、次年度の開催に向けて活かしていくことが、近々の大きな議題の一つとなっております。

過去には支部懇談会申し込み方法のWeb化、メー



ルマガジンの配信などを手がけてまいりました。

一進一退のコロナ禍で、ご父母・保護者の安心のため、学生が自信を持つため、さらに未来の育友会のために、何ができるのかを考え、常に新たな取り組みに挑戦し続けてまいります。

会報『育友』編集委員会



情報発信ツールとして、学生生活の今をお届け

委員長 伊藤 明

皆様のお手元にお送りしている育友会の季刊誌『育友』を担当している委員会です。本誌は事務局のご尽力で構成・発行しております。私ども委員は、年4回の発行に合わせ委員会を実施して記事・構成・取材に関する提案・確認などをしております。

新型コロナ以前は、取材同行など活発に活動しておりましたが、大学の授業が90%対面で行われるようになった今も、取材同行は難しいのが現状です。早く以前の環境に戻ればと願っています。

季刊誌『育友』は、大学・育友会から父母・保護者の皆様への情報発信ツールだと考えております。大学からのご案内・お知らせ・入学式など各行事、



学部・ゼミなど教授の先生方からの寄稿、授業風景の取材レポート。部・サークルなど学生生活のレポートも積極的に行っています。年4回の発行でタイムリーとはいかない面もありますが、学生生活の今を常に情報発信することを念頭に活動しています。

皆様のご感想ご意見を、誌面に反映させていきたいと思っております。巻末のQRコードからアンケートをお願いします。今後も、是非ご愛読ください。